

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	①重点研究テーマ「すすんで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」に沿って、国語科学習および生活全般で、「見せたい伝え合いたい」という環境設定に取り組む。 ②毎時間学習計画を意識し、一人一人の基礎・基本の定着に向けて、発問・板書に着目しながら、指導の工夫・改善を目指す。 ③学級読書の時間を設け、読み物の表現から、主人公の気持ちや様子を読み取りなどして、語彙や表現の蓄積を図る取り組みを行う。
担当	研究・研修

学力向上に関わる本校の状況
<p>(1)学力に関わる児童の実態</p> <p>横浜市学力・学習状況調査では、学年による差は見られるが、全体的に横浜市の平均を下回る結果の教科が多い。教科別に見ると、国語・社会・理科に大きな差はないが、算数がやや下回っている。特に、空間や図形の認知に課題が見受けられる。国語では、基礎・基本は平均的であるが、自ら理解したことに基づいて考える力に課題が残る。また、学習意識や生活意識の低さが、学力に反映していることが読み取れる。引き続き基礎・基本の定着を図るために復習と繰り返しの指導を行う必要がある。</p> <p>本校の児童の中には、外国籍や外国につながる児童が多数在籍している。また、コロナの収束に伴い増加傾向にある。日本語の習得が十分でない児童の日本語での学習理解は困難で言葉の壁に阻まれる学習の定着課題が見られる。学級担任と国際教室担当との連携を図り、児童の学習意欲を高め学力の向上をする指導を行うことが必要である。</p> <p>(2)これまでの学校の取り組み状況</p> <p>○国語を重点研究のテーマにおき、思考・判断・表現する力を育む取り組みを行ってきた。日々の生活や学習の中で自分の気持ちや考えを伝えることと相手の思いや考えを理解する気持ちを培う指導に努めてきた。</p> <p>○楽しく学び分かるための教材の工夫や授業展開について検討してきた。</p> <p>○図書を利用した文字の教材だけでなくインターネットを活用した教材の利用を試みる授業も行った。</p>

今年度の目標
①重点研究テーマ「すすんで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」にそって、目的意識をもって学べる授業研究を行う。 ②児童のコミュニケーション力を育成し、伝え合う楽しさを実感し、よりよく生きようとする姿を目指す指導の工夫と展開する。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	○横浜市学力・学習状況調査の結果を学年ごとに分析し、具体的な授業改善案を立てて、学習力向上につなげられるようにする。 ○単元や一単位時間の授業内容を検討し、育成しようとする資質・能力を明確にした、授業づくりを実践する。 ○本時のめあてを明確にするための板書の仕方や、振り返りやまとめについて全校で統一した指導を行い、子どもが学習理解しやすい環境づくりを行う。 ○重点研のテーマを「自己を進んで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」とし、国語科学習を中心に、主体的な学びを引き出す授業づくりに取り組む。 ○学校生活全般における人と豊かに関わるための素地を育成するために あいさつの励行を促す。教員のあいさつについても大切にする。 ○図書に時間を大切にし、読み聞かせや個々の読書を通して、本の楽しさを知り、豊かな心の育成を図る。
下半期	○横浜市学力・学習状況調査結果を参考にして、学習力向上のための具体的な課題を模索し、授業改善と実践をする。 ○単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした、授業づくりをする。 ○本時のめあてを明確にするための板書の仕方や、振り返りやまとめについて全校で統一した指導を行い、子どもが学習理解しやすい環境づくりの実践から次年度に向けた学習の定着を図る。 ○重点研のテーマのもと「すすんで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」とし、国語科学習を中心に、主体的な学びを引き出す授業づくりに取り組む。 ○学校生活全般における人と豊かに関わるための素地を育成するために あいさつの励行を促す。教員のあいさつについても大切にする。 ○図書に時間を大切にし、読み聞かせや個々の読書を通して、本の楽しさを知り、豊かな心の育成を図る。